

郷土が生んだ五人の偉人たちに会える



木村 栄  
天文学者

明治3年(1870)～昭和18年(1943)  
水沢緯度観測所長となり、緯度  
変化の公式に「Z項」の存在を発  
見し、世界の天文学に貢献する。  
理学博士。第1回の文化勲章受章。



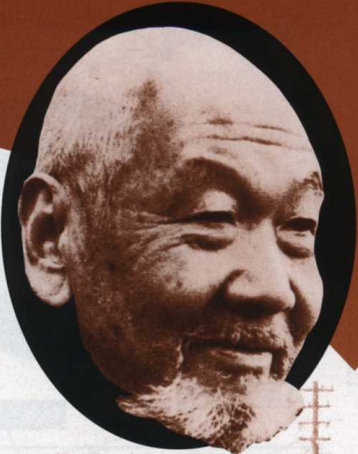
鈴木 大拙  
仏教学者

明治3年(1870)～昭和41年(1966)  
禅の研究を通じて、仏教を広く  
海外に伝える。生涯における著作  
は百冊を超え、英文による著作も  
多い。文学博士。文化勲章受章。



高峰 譲吉  
化学者

安政元年(1854)～大正11年(1922)  
アドレナリンの結晶化とタカジ  
アスターゼの創製で、世界の医学  
薬学に大きく貢献し、科学振興や  
日米親善にも尽くす。工学博士。



三宅 雪嶺  
思想家・評論家

万延元年(1860)～昭和20年(1945)  
明治・大正・昭和前期のオピニ  
オンリーダーで、雑誌「日本人」  
などを主宰し、日本民族の発展と  
世界的使命を強く説く。文学博士。  
文化勲章受章。



藤岡 東圃  
国文学者

明治3年(1870)～明治43年(1910)  
幅広い考察と、流麗な文章で、  
「日本風俗史」や「国文学史平安朝  
篇」などの名著を残し、近代国文  
学の発展に寄与する。文学博士。



金沢市立

ふるさと  
偉人館

◆金沢市下本多町六番丁十八ー四  
電話(〇七六二)二〇一二四七四